

このページは、直接入力できません。そのまま見るか印刷して使ってください!!

おもしろ国語

51

詩しを読よもう

ひらがなばかりの詩の本です。しほん

「かまきりりゅうじ」くんがかきました。

「くりのみしょうへい」くんがかきました。

「からすえいぞう」くんがかきました。

ほんとうかなあ。そんな子こいるのかなあ。

そうおもったら、ぜひ、としょかんで、さがして

みてくださいね。『のはらうた』(くどうなおこ)

ほんという本です。

たとえば、「かまきりりゅうじ」くん「くりのみ

しょうへい」くんは、つぎのようにかきました。ほかに、のはら

のなかまたちのしがたくさんあります。

おれは かまきり

かまきりりゅうじ

おう なつだぜ

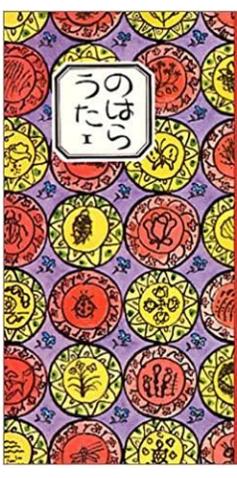
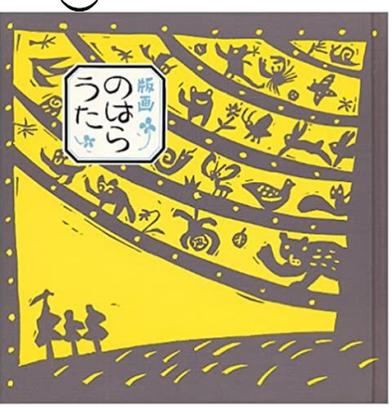
おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの ところも かまも

どきどきするほど

ひかってるぜ



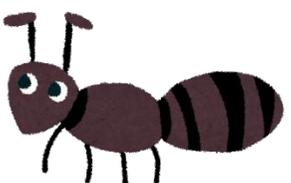
おう あついぜ
おれは がんばるぜ
もえる ひをあびて
かまを ふりかざす すがた
わくわくするほど
きまつてるぜ



えへん

くりのみ しょうへい

くりばやしに ねころんで
はなうた うたってたら
しごとがえりの ありんこが
「きみ かしこそうな あたまのかっこね」
といった



•••

ふっふっふ
おれ あしたから
しゅくだい やろうつと



*工藤直子さんは、二年生で学習する「ふきのとう」の作者です。「おれは かまきり」は、教科書に載ったこともあり、子どもたちも大好きです。声に出して読んだり、繰り返し読んで覚えてしまったりする子もいます。大人が読んでも楽しい作品がたくさんあります。

